

5/17 第27回臨時理事会開催

●第25回通常総代会招集及び通常総代会に付議する議案決定の件

定数62条、64条に基づき、第25回通常総代会の招集と付議する議案について議決しました。

●2016年度決算関係書類等承認の件

2016年度の決算関係書類等を議決しました。第25回通常総代会の第1号議案として付議しました。

●2017年度借入金最高限度額決定の件

2017年度借入金の最高限度額を、当組合の総資産や当座試算を勘案し157億円とすることを議決しました。

●パルシステム生活協同組合連合会及びパルシステム共済生活協同組合連合会子会社への役員(取締役)候補派遣の件

パルシステム連合会及びパルシステム共済連からの要請にこたえ、子会社への役員(取締役)候補として5名の役員候補を派遣することを議決しました。

●生活協同組合パルシステム千葉子会社への役員(取締役)候補派遣の件

パルシステム千葉の子会社、株式会社ケア・アクセスからの要請にこたえ、役員候補1名を派遣することを議決しました。

5/25 第28回定例理事会開催

●「理事会規則」及び「常任理事会運営規則」一部改定の件

当組合の決済基準の改善を主たる目的として理事会規則を一部改定すること、またそのことで理事会規則別表の更新に伴う範囲で常任理事会運営規則を一部改定することを議決しました。

●復興支援特別委員会運営規則改定の件

会議体名から「特別」を削除し「復興支援委員会」に名称を変更するとともに、メンバー構成を変更することを議決しました。

●定時職員賃金規則改定(福祉定時職員の時給一覧の改定)の件

2017年度の介護報酬改定による介護職員処遇改善加算1の取得にあたり、定時職員賃金規則を一部改定することを議決しました。

6/24 核兵器廃絶の実現のために「ヒバクシャ国際署名」の取り組みにむけての学習会

全国の生協や市民団体が参加する署名の取り組み。キャンペーンリーダーの林田光弘さんから署名の意義やその効果を、また東友会被害者相談所相談員の村田未知子さんからは被ばく者の実像や思いをうかがいました。

「署名を呼び掛けるときに役立つ情報だった」などの感想もあり、様々な世

界に向けた願いを再確認しました。

元「SEALDS」メンバーの林田さん。「社会運動をしたことのない人にも関心をもってもらえる工夫を」と話しました(新宿本部)

ヒバクシャ国際署名はオンラインでも。9/13(水)まで受付

パルシステムの平和活動 検索

2017年度の
パルシステム東京の事業と活動

パルシステム東京 専務理事 辻 正一

●パルシステム事業

エコ・チャレンジやコア・フード、PB商品など、商品にこめられた想いを伝える活動に取り組みます。また、新商品の開発や既存の商品の改良を進め、食の安全への取り組みを強化していきます。

若い世代の組合員の定着のため、商品の特長や、パルシステムの上手な活用法を伝える活動にも取り組みます。

●福祉事業

地域のニーズや次の介護保険法改正を考慮し、介護事業の改善を進めます。また保育事業では、これまでの実績が評価された「ばる★キッズ府中」は下期の認証保育園への移行をめざし、「ばる★キッズ足立」は2018年4月オープンにむけ、準備を進めます。



定期的な研修で介護のスキルアップを

●組合員活動

さまざまな立場や多世代の組合員が活動できるしくみを構築し、一人ひとりが学び・行動する組合員を増やしていきます。また脱原発社会実現のため、昨年度スタートしたパルシステムでんきの利用を広げることも課題です。

保育園についても真剣に考える
先輩総代の意見に感動しました

中央区総代 中野 有佳さん



今回、初めて総代に立候補しました。3歳の息子の子育て中ですが、総代会はもちろん、これまでの3回の総代会議なども、保育を利用できたので安心して参加できました。

総代の活動を通して、ばる★キッズの保育園の取り組みを知りました。子育て世代の問題ととらえがちな保育のことも、子育てを終えた総代の方々も真剣に考え、声をあげてきたことで実現していることを知り、感動しました。

次はあなたが総代に!

パルシステム東京の明日を作る総代には、組合員(2017年6月末時点で組合員登録)なら誰でも立候補できます。初めてでも、子育て中でも、スタッフがサポートするので、不安なく総代の活動に取り組めます。ぜひ立候補してください。



思いをこめて、1票を投じた総代のみなさん

応募締め切り

8月25日(金) 17時 まで

問い合わせ & 立候補の応募は、

▶ 総代ホットライン ☎0120-806-056



6月13日、京王プラザホテルで「第25回通常総代会」を開催しました。国でいえば国会にあたるこの会議。この日を迎えるまで3回の総代会議などを経て、パルシステム東京の事業と活動の進捗を確認し、2017年度の方針について議論を重ねたものを、採決しました。野々山理恵子理事長に、今年度のパルシステム東京の展望を聞きました。

高い関心を
協力の力に

第25回通常総代会を終えて



「商品に関心をもった組合員が気軽に生協の活動に参加できるようにすることが大事ですね」と話す野々山理事長

総代の出席数増加に手ごたえ

今回の総代会は、過去最高の342名の出席(代理人出席含む)がありました。パルシステム東京の事業や取り組みへの関心の高まりを実感します。組合員の代表である総代が生協に関心をもち、こうあってほしいと願うことが、よりよい生協に成長する第一歩です。

組合員の新しい居場所づくりへ

今後より多くの組合員の関心を生協運営につなげることが課題です。組合員が関心をもちやすいのは、やはり商品。「新商品の味は?」「食の安全ってどういうこと?」、そんな身近な関心事から生協活動に参加してもらえればと思います。

そのためには、仕事や育児などで時間のない人でも参加しやすい形を作りたいですね。

社会的な課題にも関心を

事業体であるとともに運動体でもある生協は、脱原発や貧困といった社会的課題にも取り組んでいます。これからの社会を作るのは私たち自身という当事者意識をもって学び・伝え合う機会を増やしていきます。

多くの関心が寄せられた今年の総代会。より魅力的で楽しいパルシステム東京への、確実な歩みになりました。

2016年度 決算報告 2016年4月1日~2017年3月31日

総事業高 732億1,070万円 (すべての事業収入)

前年比 100.7% 予算比 100.4%

経常剰余金 11億1,247万円
事業総剰余金から経費や利息などを精算した、今期の利益

パルシステム事業総事業高 721億3,486万円
前年比 100.3%

福祉事業総事業収入 10億2,772万円
前年比 102.5%

出資金

172億1,157万円
前年比 104.2%
1人当たり出資金額 3万7,083円

組合員数 46万4,135人

(マークは予算比。数値は1万円未満切り捨て)

【2016年度 各事業の報告および剰余金処分に関して】

パルシステム事業 組合員拡大が順調に進んだほか、休眠者再開の集中的な取り組み、またクリスマス・お正月用品やパルくる便・予約米に専用注文用紙を導入したことなどにより、供給高予算を達成しました。また、指定便・タバコ・きなりセレクトが順調に拡大しています。

福祉事業 通所介護・訪問介護・認可外保育園が牽引する形で、福祉事業全体で、今年をはじめ、10億円を超える事業規模まで伸長しました。2016年12月にはグループホーム中野中央陽だまりを開設しました。

剰余金の処分について 今年度は出資配当に加えて利用割戻しが実施されました。